



獣医師紹介

小林 一郎先生

どうぶつ眼科Eye Vet
院長
獣医眼科学専門医



Q1. Duo One Eye R (旧メニわんEyeII) をどのような症例に処方されますか？

A 網膜変性の所見や夜盲が認められた症例に対して抗酸化作用を期待して処方します。

Q2. どのような効果を期待されていますか？

A 網膜変性の進行予防および現状維持、続発性白内障の予防としての効果を期待して処方しています。

Q3. ご家族様にどのように案内されていますか？

A 夜盲の症状を認めた際に、継続的な服用を勧めることが多いです。ビタミン E とアスタキサンチンの成分が両方摂取出来ること、サプリメントというカテゴリーの製品であるため副作用が少ないことや嗜好性が高いことがメリットだと思います。ただ、サプリメントは治療薬ではないという判断からか保険が適応されないことがあると聞き、継続する上での経済的なコストを気にされるご家族様もいらっしゃいます。

Q4. 効果を感じられたケースはございますか？

A あります。ただ、同一個体の同時期を比較することはできないため、確固たるエビデンスがあるわけでは無いですが、使用して頂いたご家族様からのお話でそう感じる場合があります。個人的な感想ですが実際に数年にわたって継続できている症例は網膜変性のステージを維持していたり、進行が緩やかだと思えます。

Q5. ご家族様の反応(感想)はいかがですか？

A 問題無く服用出来る場合は反応が良いです。食の細い個体や偏食気味の個体は、6錠という量の服用が困難なことがあります。全く自ら口にしない場合はご家族様が強制的に服用させなくてはいけない為、継続出来なくなる理由として一番多いです。時々、服用開始してすぐに便の色がオレンジに変わったと、驚かれる場合があるので、サンプルをお渡しする際には便の色が変わることをお伝えしています。

Q6. 最後にオススメの理由、ポイントをお教えてください。

A 点眼療法や外科的な介入で改善できる疾患ではないことから、網膜変性に対して治らない・何も治療が出来ないと、残念がるご家族様が多くいらっしゃいますが、抗酸化作用が網膜変性に対して有効であること、数年にわたって継続できている症例は網膜変性のステージの維持が可能であったり、進行が緩やかだと思えます。なので、できるだけ早期に発見し早期に Duo One Eye R (旧メニわん Eye II) の投与を開始すれば、人間と生活する上では何の不自由もなく過ごすことができる病気だと考えます。ただし、個体差はありますが服用を続けることに意義がありますので継続と定期的なアイチェックは必要です。

Duo One Eye シリーズ
デュオワン アイ



網膜の健康維持

(旧メニわんEyeII)



水晶体の健康維持

(旧メニわんEyecareII)



眼(網膜・水晶体)の健康維持

(旧メニわんEye R/C)



眼圧が気になるときに

(旧メニわんカシスG)

Duo One Eye 処方箋

デュオワン アイ

— 旧メニわんEyeIIシリーズ —

獣医眼科学専門医は
こう使う!!

Duo One Eye R (旧メニわんEyeII) の使い方

どうぶつ眼科Eye Vet
院長 小林 一郎先生

Duo One Eye C (旧メニわんEyecareII) の使い方

上杉動物眼科クリニック
院長 藤井 裕介先生

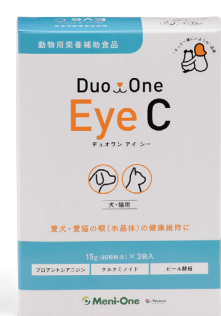
Duo One Eye R&C (旧メニわんEye R/C) の使い方

動物眼科センター
センター長 太田 充治先生

Duo One Eye G (旧メニわんカシスG) の使い方

どうぶつ眼科専門クリニック
院長 辻田 裕規先生





獣医師紹介

藤井 裕介 先生

上杉動物眼科クリニック
院長
獣医眼科学専門医



Q1. Duo One Eye C (旧メニわんEyecareII) をどのような症例に処方されますか？

A 動物の年齢は問わず、初発白内障と診断のついた症例で、進行予防に何かできることはないかと模索しているご家族様に対してサプリメントという選択肢を提示し、ご希望された方に処方します。

Q2. どのような効果を期待されていますか？

A 白内障の状態を定期的にモニターしていく中で、進行の予防効果を画像レベルで確認できることを期待しています。

Q3. ご家族様にどのように案内されていますか？

A サプリメントを服用することでの効果に期待を持たせるような言い方は致しません。あくまでも白内障臨床ステージの中でのサプリメントの位置付けを、以下のようにしっかりと説明するように心がけます。
白内障は老化ではなく病気です。白内障には進行ステージがあり、視覚が温存されている初発期・未熟期の白内障症例はサプリメントなどによる進行予防の対象となります。強い視覚障害となる成熟期に進行すれば、進行予防の対象からは外れます。成熟期の治療法は白内障手術のみです。

Q4. 効果を感じられたケースはございますか？

A 正直に申し上げますとサプリメントによって進行予防ができているという決定的な根拠を持ち合わせておりません。ただ白内障が進行しやすいトイプードル、ミニチュアシュナウザー、コッカースパニエルなどの犬種あるいは高齢犬でサプリメントを処方している症例において、定期検診で視覚が確認され、臨床ステージが進んでいない時に、そのことをご家族様にお伝えするとかかなり喜んでいただけますので、うれしく思います。

Q5. ご家族様の反応(感想)はいかがですか？

A Q4アンサーのように喜ばれることがある一方、真逆のケースもあります。つまりサプリメントを服用しているのに、臨床ステージが進む場合では、ご家族様は落胆されます。ただQ3アンサーのようにサプリメントの位置付けをしっかりと理解されているご家族様は、治療法を手術に変更することやサプリメントを終了にするなど、方針をしっかりと切り替えることができます。

Q6. 最後にオススメの理由、ポイントをお教えてください。

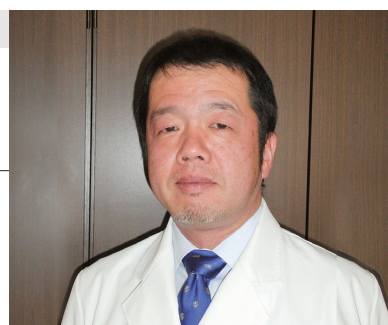
A サプリメントは基本的に副作用が少ないという点でご家族様には印象が良いように感じます。進行予防の点眼剤も選択肢にあるわけですが、点眼が苦手なご家族様もいらっしゃいます。そのようなご家族様にサプリメントはオススメです。大型犬なら 1 箱 1 ヶ月、小型中型犬では 1 箱 1.5 ヶ月・2 箱 3 ヶ月と動物の体重に合わせて、サプリメントの購入時期を定期検診のタイミングと合わせることで、より正確な進行評価ができるようになります。



獣医師紹介

太田 充治 先生

動物眼科センター
センター長
獣医眼科学専門医



Q1. Duo One Eye R&C (旧メニわんEye R/C) をどのような症例に処方されますか？

A 主に老齢動物において、まだ視覚が損なわれていない程度の老年性白内障がみられ、同時に加齢による網膜の退行性変化(網膜変性)がみられるような場合にお勧めしています。

Q2. どのような効果を期待されていますか？

A 白内障の進行を抑制し、かつ網膜機能を維持することによって、老齢動物の視覚ができるだけ良好に長期間維持され、生涯「見える眼」のまま過ごすことができることを期待しています。

Q3. ご家族様にどのように案内されていますか？

A 白内障の根治治療は手術のみです。しかしながら老齢動物の場合、種々の条件より手術による治療が必ずしも最良の選択にはならないこともあります。また、加齢に伴った網膜変性による視覚の低下を回復させる確実な治療法はありません。このような状況の動物に対して、その両方の疾患の進行を抑制するためのリスクの少ない対処法の 1 つの選択として Duo One Eye R&C (旧メニわん Eye R/C) の服用をご提案します。

Q4. 効果を感じられたケースはございますか？

A 本製品はサプリメントですし、無投与群との比較をしているわけではありませんので、明言はできません。また、視覚残存症例に対してお勧めしていますので、目立った効果を感じるということはありませんが、本製品を服用していただいている、眼科検査において白内障および網膜変性の進行がほぼ抑制され、比較的長期間視覚を維持できている例もあります。

Q5. ご家族様の反応(感想)はいかがですか？

A 本製品を服用していただいているご家族様からは特に服用させにくいといったような不満の声はなく、嗜好性については問題ないのではないかと考えます。
本製品は見えなくなった眼が見えるようになるような効果を期待するものではないので、大きな反響があるわけではありませんが、視覚が維持できていることについては満足されているのではないのでしょうか。

Q6. 最後にオススメの理由、ポイントをお教えてください。

A 私どもの施設のような二次診療病院には、動物が視覚を失ってしまうことをとても心配されるご家族様が多く来院されます。老齢動物の視覚低下の原因として多くみられる白内障や網膜変性に対する初期の対処法として、Duo One Eye R&C (旧メニわん Eye R/C) は安全で有効なサプリメントであると考えます。



獣医師紹介

辻田 裕規 先生

どうぶつ眼科専門クリニック
院長
アメリカ獣医眼科専門医
獣医眼科学専門医



Q1. Duo One Eye G (旧メニわんカシスG) をどのような症例に処方されますか？

A 特に急性期の緑内障症例で視覚がある／視覚回復の見込みがある、緑内障網膜症を有する症例で処方しています。またすでに網膜変性が見られる症例でも抗酸化作用に期待して処方することがあります。

Q2. どのような効果を期待されていますか？

A 高眼圧に対しての保護効果を期待して緑内障症例に処方しています。その抗酸化効果による緑内障網膜症に対する細胞保護も主な処方目的です。緑内障網膜症の病状進行の遅延化と、緑内障網膜症・視神経症で残念ながら視覚が消失していても、網膜変性からの白内障形成とそれに伴う合併症の発症予防からビタミンEを含む抗酸化剤の投与を推奨することもあります。

Q3. ご家族様にどのように案内されていますか？

A ヒトでも緑内障の治療を受けている人に対し、カシスアントシアニンの推奨報告があること、また前述のように最終的には進行は止めきれないまでも、過度の酸化による細胞障害を防ぐという意味で Duo One Eye G (旧メニわんカシスG) を緑内障の症例に推奨しております。

Q4. 効果を感じられたケースはございますか？

A すべてが同じ環境下で症例の予後と比較するコントロール群の対象がいらないことから、客観的な評価は難しいですが、上記の理由で病変進行に対しては主観的に本サプリメントを継続する意味は感じています。

Q5. ご家族様の反応(感想)はいかがですか？

A 嗜好性が良く、本剤の服用に苦勞することは少ないです。稀に受け付けてくれない動物もいますので、今後は液状シロップのようなもの、食事に混ぜやすい粉末タイプの開発も期待しております。

Q6. 最後にオススメの理由、ポイントをお教えてください。

A 緑内障で失明する前に何かをしてあげたいというご家族様は、出来ることはなんでもしてあげたい、という方もいらっしゃいます。そうした場合に抗酸化効果が期待できる Duo One Eye G (旧メニわんカシスG) は動物にもご家族様にも有用な選択肢と考えております。